

西之表市監査委員公表 第 26 号

地方自治法第 199 条第 4 項の規定に基づく定期監査〔各小・中学校〕を実施したので、同条第 9 項の規定により監査の結果に関する報告を決定し、別紙のとおり公表する。

令和 5 年 10 月 31 日

西之表市監査委員 廣瀬 正和
西之表市監査委員 田添 辰郎

定期監査〔各小・中学校〕の結果に関する報告書

1 監査の対象 教育委員会（各小・中学校）

2 監査の事項

- (1) 予算の執行状況（令和5年9月末現在）
- (2) 備品の管理状況（榕城小・上西小・下西小・国上小・伊関小・住吉小）
- (3) 図書の有現状況
- (4) 就学援助費支給状況
- (5) 切手・はがきの受払状況
- (6) 私用電話料の納入状況
- (7) その他

3 実地監査日程

令和4年10月17日（火）

〔対象学校〕上西小・国上小・現和小・安城小

10月18日（水）

〔対象学校〕古田小・種子島中・榕城小

10月19日（木）

〔対象学校〕下西小・住吉小

10月23日（月）

〔対象学校〕安納小・伊関小

4 監査の手続

各小・中学校の定期監査にあたっては、予算の執行状況（令和5年9月末日現在）、備品の管理状況、図書の有現状況、就学援助費支給状況、切手及びはがきの受払状況、私用電話料の納入状況等について、あらかじめ資料の提出を求め、書類審査及び実地監査を全校を対象に実施した。但し、備品の管理状況については榕城小・上西小・下西小・国上小・伊関小・住吉小の6校を対象として実施した。

5 監査の結果

本年度は、令和5年10月17日・18日・19日・23日の4日間、市内小中学校全校を対象に定期監査（書類審査・備品監査）を実施した。

監査に付された各学校の事務処理、備品管理のうち、備品監査については、取得価格5万円以上の備品について現有数の確認及び管理の状況について対象校の監査を実施した。

監査対象となった全学校について、おおむね適正に処理されていることが確認できた。

図書関係については、データ管理がしっかり行われており、事務の改善・効率化が図られているが、数校で報告数値とシステム上の数値との差があったので適正管理に努められたい。

例年申し上げているとおり、備品は市民の財産であり、その管理・運用には特段の配慮をもって取り扱わなければならないという意識のもと、今後とも良好な管理に努められたい。

なお、市内小・中学校の歳出予算執行状況は、次表のとおりである。昨年同時期に比較して執行率は、一部の学校を除き下降しているが、おおむね適正に予算執行されていることを認めた。今後とも学校運営に支障をきたさないよう適正な執行に努められたい。

単位：円／％

学校名	予算現額(A)	支出済額(B)	予算残額(C)	執行率 (B/A)
榕城小	5,802,000	2,548,406	3,253,594	43.9
上西小	1,452,000	446,665	1,005,335	30.8
下西小	2,277,000	804,587	1,472,413	35.3
国上小	1,672,000	794,238	877,762	47.5
伊関小	1,536,000	603,630	932,370	39.3
安納小	1,489,000	694,888	794,112	46.7
現和小	1,760,000	847,636	912,364	48.2
安城小	1,601,000	745,496	855,504	46.6
古田小	1,508,000	555,718	952,282	36.9
住吉小	1,734,000	614,815	1,119,185	35.5
種子島中	6,146,000	2,615,959	3,530,041	42.6
合計	26,977,000	11,272,038	15,704,962	41.8

最後に、教育委員会所管課においては、日頃より学校施設管理についてご尽力頂き、年々改善傾向にあることは承知するところであるが、現地監査時において、口頭により指示された事項については、確認後速やかに報告するよう求めるものである。